



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月8日

上場会社名 昭栄薬品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3537 URL <http://www.shoei-yakuhin.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤原 佐一郎
 問合せ先責任者(役職名) 取締役財務本部長 (氏名) 成瀬 幸次 (TEL) 06-6262-2707
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)
 (百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	9,057	△12.3	86	△42.1	164	△29.9	155	△2.1
2019年3月期第2四半期	10,328	4.9	149	△14.2	235	△3.1	158	△6.6

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △216百万円(-%) 2019年3月期第2四半期 738百万円(25.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	43.42	—
2019年3月期第2四半期	44.59	—

(注) 当社は、2018年12月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	14,796	7,799	52.7
2019年3月期	16,831	8,080	48.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 7,799百万円 2019年3月期 8,080百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,841	△11.3	120	△56.2	256	△37.5	232	△14.8	64.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※当社は、2019年11月8日開催の取締役会において、自己株式の取得に係る事項について決議いたしました。2020年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該事項による影響を考慮しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	3,579,105株	2019年3月期	3,579,105株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	629株	2019年3月期	629株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	3,578,476株	2019年3月期2Q	3,556,885株

(注) 当社は、2018年12月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績予想等将来に関する内容は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因にかかる本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2019年11月28日(木)に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定としております。当日に使用する決算説明資料については、開催後遅滞なく当社ホームページ(<http://www.shoei-yakuhin.co.jp/ir/>)に掲載いたします。なお、機関投資家・アナリスト向け決算説明会の開催予定の詳細は、当社ホームページ(<http://www.shoei-yakuhin.co.jp/ir/calendar.html>)に掲載しておりますので、ご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益は底堅く、雇用情勢は改善し、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方、消費増税による消費の落ち込み懸念や米中貿易摩擦、英国のEU離脱問題等の影響で、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社グループの事業とかかわりの深い界面活性剤業界におきましても、ここ数年堅調に推移していた生産・販売活動が前年と比べ、低調な推移となりました。

こうした中、当社グループとして化学品事業におけるオレオケミカルを中心とした既存得意先への拡販・拡充、新規取引先の開拓、国内外での新興化学品の販売拡大に取り組みましたが、低水準で推移する一部原材料価格（天然油脂相場価格）の影響や国内主要得意先からの受注減等の影響を受けることとなりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高は9,057,549千円（前年同四半期比12.3%減）、営業利益は86,283千円（前年同四半期比42.1%減）、経常利益は164,721千円（前年同四半期比29.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益に投資有価証券売却益57百万円を計上したことで155,362千円（前年同四半期比2.1%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、各セグメントの売上高は外部顧客への売上高を表示し、セグメント損益は四半期連結損益計算書における営業損益（営業利益又は営業損失）をベースとしております。また、各セグメントの営業損益のほかに、各セグメントに帰属しない全社費用82,897千円（前年同四半期比0.9%増）があります。

① 化学品事業

化学品事業におきましては、国内主要得意先の生産・販売活動が低調となり、受注減となりました。また一部原材料価格（天然油脂相場価格）が低水準で推移することで販売価格が伸び悩み、その他中国での環境規制に伴う一部取扱商品の供給不足等の問題も改善されませんでした。

この結果、化学品事業に係る当第2四半期連結累計期間の売上高は8,197,262千円（前年同四半期比12.0%減）、セグメント利益は132,335千円（前年同四半期比20.8%減）となりました。

② 日用品事業

日用品事業におきましては、当社オリジナル商品のインターネット販売は順調に推移するものの、当事業が取扱う生活日用品などの個人消費は依然低迷しており、新規取引先の開拓や既存得意先への新アイテムの提案等拡販に努めましたが低調となりました。

この結果、日用品事業に係る当第2四半期連結累計期間の売上高は385,452千円（前年同四半期比9.5%減）、セグメント利益は48,409千円（前年同四半期比27.5%減）となりました。

③ 土木建設資材事業

土木建設資材事業におきましては、当事業の取扱商品とかかわりの深い地盤改良工事、コンクリート補修補強工事の受注が二次販売店を中心に復調の兆しになりつつも、前年比較的規模の大きかった環境関連薬剤の納入が一旦落ち着き、環境改善工事の受注は低調となりました。

この結果、土木建設資材事業に係る当第2四半期連結累計期間の売上高は474,834千円（前年同四半期比19.3%減）、セグメント損失は11,563千円（前年同四半期は2,833千円のセグメント損失）となりました。

[2020年3月期 第2四半期 セグメント別連結業績]

(単位：千円，%)

セグメント区分	セグメント別売上高		セグメント損益（営業損益）	
	実績	百分比	実績	利益率
化学品事業	8,197,262	90.5	132,335	1.6
日用品事業	385,452	4.3	48,409	12.6
土木建設資材事業	474,834	5.2	△11,563	—
全社費用	—	—	△82,897	—
セグメント合計	9,057,549	100.0	86,283	1.0

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は14,796,492千円（前連結会計年度末比2,034,772千円の減少）となりました。主な要因は、現金及び預金が763,656千円、受取手形及び売掛金が677,144千円、保有有価証券の時価変動や一部売却により投資有価証券が610,025千円それぞれ減少したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は6,996,516千円（前連結会計年度末比1,754,178千円の減少）となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が1,305,391千円、長期借入金が300,000千円、繰延税金負債が179,564千円それぞれ減少したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は7,799,976千円（前連結会計年度末比280,594千円の減少）となりました。主な要因は、利益剰余金が90,950千円増加したものの、保有有価証券の時価変動や一部売却によりその他有価証券評価差額金が379,993千円減少したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ769,956千円減少し、859,528千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は513,054千円（前年同四半期は158,703千円の獲得）となりました。主な要因は、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったことによる未決済分が当第2四半期連結累計期間に決済されたこと等により、売上債権の減少額685,986千円があった一方で、仕入債務の減少額1,307,325千円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は85,485千円（前年同四半期は20,124千円の使用）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出27,061千円があった一方で、投資有価証券の売却による収入122,750千円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は343,807千円（前年同四半期は404,919千円の使用）となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出300,000千円、配当金の支払額64,412千円があったことによるものです。

資本の財源及び資金の流動性に係る情報は、次のとおりであります。

(主要な資金需要及び財源)

当社グループの主要な資金需要は、原材料、販売費及び一般管理費、並びにシステム投資等の投資であります。

また今後、当社グループの収益の源泉として、事業間及び国内外間のシナジーを迫りし売上高の増加を目指してまいります。

(資金の流動性)

突発的な資金需要に対して、迅速かつ確実に資金を調達できるよう、20億円の当座借越枠を取得しており、流動性リスクに備えております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期連結業績予想につきましては、2019年5月10日「2019年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」において公表した数値から変更しております。詳細につきましては、2019年11月5日に公表しました「2020年3月期第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,868,185	1,104,528
受取手形及び売掛金	6,423,477	5,746,332
商品	414,486	415,221
その他	76,280	80,235
貸倒引当金	△222	△198
流動資産合計	8,782,207	7,346,120
固定資産		
有形固定資産	193,869	213,687
無形固定資産	23,677	19,928
投資その他の資産		
投資有価証券	7,242,659	6,632,633
敷金及び保証金	328,146	330,019
その他	266,360	259,757
貸倒引当金	△5,654	△5,654
投資その他の資産合計	7,831,511	7,216,756
固定資産合計	8,049,057	7,450,372
資産合計	16,831,265	14,796,492

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,284,098	3,978,706
短期借入金	332,643	352,299
1年内返済予定の長期借入金	450,000	450,000
未払法人税等	63,154	67,020
賞与引当金	70,719	76,516
その他	83,456	82,002
流動負債合計	6,284,071	5,006,545
固定負債		
長期借入金	300,000	—
退職給付に係る負債	53,133	55,998
長期末払金	166,139	166,139
繰延税金負債	1,916,960	1,737,395
その他	30,389	30,437
固定負債合計	2,466,623	1,989,970
負債合計	8,750,694	6,996,516
純資産の部		
株主資本		
資本金	248,169	248,169
資本剰余金	173,568	173,568
利益剰余金	3,073,937	3,164,887
自己株式	△711	△711
株主資本合計	3,494,962	3,585,913
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,478,725	4,098,731
為替換算調整勘定	106,881	115,330
その他の包括利益累計額合計	4,585,607	4,214,062
純資産合計	8,080,570	7,799,976
負債純資産合計	16,831,265	14,796,492

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	10,328,240	9,057,549
売上原価	9,506,115	8,285,785
売上総利益	822,125	771,764
販売費及び一般管理費	673,101	685,480
営業利益	149,023	86,283
営業外収益		
受取利息	3,559	3,708
受取配当金	65,808	70,736
為替差益	13,049	—
不動産賃貸料	11,753	11,722
その他	2,400	4,197
営業外収益合計	96,571	90,363
営業外費用		
支払利息	6,118	3,797
為替差損	—	3,007
不動産賃貸原価	3,936	4,137
その他	422	983
営業外費用合計	10,476	11,926
経常利益	235,118	164,721
特別利益		
投資有価証券売却益	—	57,619
特別利益合計	—	57,619
税金等調整前四半期純利益	235,118	222,340
法人税、住民税及び事業税	82,343	73,654
法人税等調整額	△5,843	△6,676
法人税等合計	76,500	66,977
四半期純利益	158,618	155,362
親会社株主に帰属する四半期純利益	158,618	155,362

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	158,618	155,362
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	597,119	△379,993
為替換算調整勘定	△17,178	8,448
その他の包括利益合計	579,941	△371,544
四半期包括利益	738,559	△216,181
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	738,559	△216,181

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	235,118	222,340
減価償却費	12,464	11,785
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△56	△24
受取利息及び受取配当金	△69,368	△74,444
支払利息	6,118	3,797
為替差損益(△は益)	△9,008	984
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△57,619
賞与引当金の増減額(△は減少)	8,740	5,797
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3,491	2,864
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△161,228	—
長期未払金の増減額(△は減少)	166,139	—
売上債権の増減額(△は増加)	65,798	685,986
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,964	225
長期前払費用の増減額(△は増加)	7,304	11,045
仕入債務の増減額(△は減少)	△64,763	△1,307,325
未払消費税等の増減額(△は減少)	△8,608	△7,023
その他	△1,373	△9,366
小計	183,802	△510,977
利息及び配当金の受取額	68,097	73,096
利息の支払額	△6,092	△5,243
法人税等の支払額	△87,103	△69,930
営業活動によるキャッシュ・フロー	158,703	△513,054
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,611	△27,061
投資有価証券の取得による支出	△7,179	△8,241
投資有価証券の売却による収入	—	122,750
保険積立金の積立による支出	△8,908	△8,124
保険積立金の解約による収入	—	6,023
その他	574	138
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,124	85,485
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	20,605
長期借入金の返済による支出	△200,000	△300,000
自己株式の取得による支出	△141,695	—
配当金の支払額	△63,224	△64,412
財務活動によるキャッシュ・フロー	△404,919	△343,807
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,394	1,419
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△256,945	△769,956
現金及び現金同等物の期首残高	1,824,291	1,629,485
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,567,345	859,528

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	化学品事業	日用品事業	土木建設資材 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,314,206	425,791	588,243	10,328,240	—	10,328,240
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,372	—	—	3,372	△3,372	—
計	9,317,578	425,791	588,243	10,331,612	△3,372	10,328,240
セグメント利益又は損失(△)	167,184	66,800	△2,833	231,152	△82,128	149,023

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△82,128千円は、各報告セグメントに配分されていない全社費用△82,128千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	化学品事業	日用品事業	土木建設資材 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,197,262	385,452	474,834	9,057,549	—	9,057,549
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,890	—	—	2,890	△2,890	—
計	8,200,153	385,452	474,834	9,060,440	△2,890	9,057,549
セグメント利益又は損失(△)	132,335	48,409	△11,563	169,181	△82,897	86,283

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△82,897千円は、各報告セグメントに配分されていない全社費用△82,897千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2019年11月8日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行および資本効率の向上を通じて株主利益の向上を図るため、自己株式の取得を行うものであります。

2. 取得の内容

- | | |
|----------------|--|
| (1) 取得する株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2) 取得し得る株式の総数 | 100,000株(上限)
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 2.79%) |
| (3) 株式の取得価額の総額 | 200,000,000円(上限) |
| (4) 取得期間 | 2019年11月11日～2020年3月31日 |
| (5) 取得方法 | 東京証券取引所における市場買付け |